

第19回 九州森林フォーラム in福岡

「今、木質バイオマスのあり方を考える」
～地域の森林をエネルギー資源に活かすために～

2014

緑と水の森林ファンド助成事業

場所 福岡県中小企業振興センター
福岡市博多区吉塚本町9-15 JR吉塚駅東口

10/31～11/1

(金) (土)

申込み締切：10/20(月)
(定員100名につき、定員になり次第 締め切らせて頂きます。)



基調講演①講師 泊みゆき氏 (NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長)
基調講演②講師 梶山恵司氏 (富士通総研経済研究所上席主任研究員)

東日本大震災と東京電力福島第1原発の事故は、社会や暮らしの基礎であるエネルギーのあり方を見直すことを提起しました。今、再生可能な自然エネルギーの一つとして木質バイオマス利用が注目されています。とりわけ、自然エネルギー由来の電気を一定の固定価格で電力会社に取り買取り義務を定めた再生可能エネルギー特別措置法(FIT)によって、にわかに木質バイオマス利用の追い風が吹き始めています。

山村は、1950年代まで薪や炭などエネルギーの供給地でした。しかし、その後、エネルギー革命ともいわれる化石エネルギー利用への傾斜によって、日本では森林のエネルギー利用をほぼ壊滅させてきました。これは先進国中で特異な状況であり、ヨーロッパでは1990年代から森林のエネルギー活用を拡大し、地域の雇用拡大に繋げています。豊かで持続的な農山村を形成するには、木質バイオマスのエネルギー利用は避けては通れない課題です。

同時に、固定買取制度の成立以降、九州では15施設以上のバイオマス発電所が計画されるなど、バイオマスラッシュと呼ばれるような状況となっています。一方、現在各地で薪生産の拡大もみられます。こうした、エネルギー需要の拡大は既存の木材流通や森林所有者に今後大きな影響をもたらすと予想されます。戦後造林木の膨大な資源蓄積の利用方策として期待されると共に、資源の持続性やエネルギー効率の面で発電利用への特化に対する懸念も聞かれます。

2004年設立のNPO法人九州森林ネットワークは、これまで九州の町と山々を繋ぎ、持続的な山村と林業について、地域材を活用した家造りについてなど、多くのテーマでフォーラムを開催してきました。19回目となる本フォーラムでは、「今、木質バイオマスのあり方を考える」をテーマとして、バイオマスの基礎知識から、海外バイオマス事情、そして九州の現状について学ぶとともに、森林所有者や山村が木質バイオマス需要にどのように対応すべきかについて議論を行いたいと思います。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

主催 NPO 法人 九州森林ネットワーク 協賛 公益社団法人国土緑化推進機構

後援 福岡県(予定)、佐賀県、長崎県、熊本県(予定)、大分県、宮崎県、鹿児島県、九州バイオマスフォーラム、九州薪・ペレット活用協議会、耳川広域森林組合、小国町森林組合、糸島市、小国町、諸塚村、(株)トライ・ウッド、(一社)ウッドピア諸塚

お問合せ先 〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 NPO 法人九州森林ネットワーク事務局
諸塚村企画課内 Tel 0982-65-1116 FAX 0982-65-0032 メール: mkikaku@morotsuka.jp

プログラム

第1部 セミナー 10月 31日(金) 13:00~17:10

12:30 受付開始 資料代 1,000円(会員無料)

13:00 開会イベント

13:10 基調講演①「木質バイオマスのエネルギー利用の特徴と課題(仮)」

講師 泊みゆき氏(NPO法人木質バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)理事長)

14:15 基調講演②「ドイツにおける木質エネルギー事情からみる日本の課題(仮)」

講師 梶山恵司氏(富士通総研経済研究所 上席主任研究員)

15:15 (休憩)

15:20 パネルディスカッション

パネリスト 中坊真氏(NPO法人九州バイオマスフォーラム事務局長)

橋本秀利氏(宮崎県日向市林業水産課長) 梅田義輝氏(宮崎県諸塚村議会議員、林業家)

コーディネーター 佐藤宣子教授(九州大学農学部) オブザーバー 泊みゆき氏、梶山恵司氏

17:10 閉会

第2部 交流会 10月31日(金) 18:00~20:00

交流会 参加費:4,000円 場所:「魚民」吉塚東口駅前店 定員40名

第3部 現地見学会 11月 1日(土) 8:45~12:30

08:45 集合 福岡県糸島市志摩支所(旧 志摩町役場)

松園制作所、伊都の湯どころ、糸島市貯木場・伊都山燦

バス代 1,000円(見学会参加者)

12:30 解散

講師 泊みゆき氏(とまり みゆき)
京都府京丹後市出身。日本大学大学院国際関係研究科修了。NPO法人「バイオマス産業社会ネットワーク」理事長。(株)富士総合研究所で10年以上、環境問題、社会問題についてのリサーチに携わる。2001年退職。1999年、「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立、共同代表に就任。

講師 梶山恵司氏(かじやま ひさし)
慶應義塾大学大学院修士(独語学)。外務省、ドイツ・チュービンゲン大学留学、日興リサーチセンター・ロンドン・フランクフルト、(株)富士通総研経済研究所、経済同友会(株)富士通総研より出向)、規制改革会議専門委員。2009年内閣官房国家戦略室員・内閣審議官。2011年11月より(株)富士通総研復職。

◆参加申込書	申込先: 諸塚村企画課 FAX 0982-65-0032			
申込み代表者				所属:
連絡先	住所:			
	TEL:		E-Mail:	
参加者	参加希望セクション			
	10月31日		11月1日	
	フォーラム ¥1,000(会員無料)	交流会 ¥4,000	現地見学会 ¥1,000(バス代)	合計
(例)森 太郎	○	○	○	5,000
コメント:				
	問い合わせ・連絡先: 諸塚村企画課 TEL0982-65-1116			